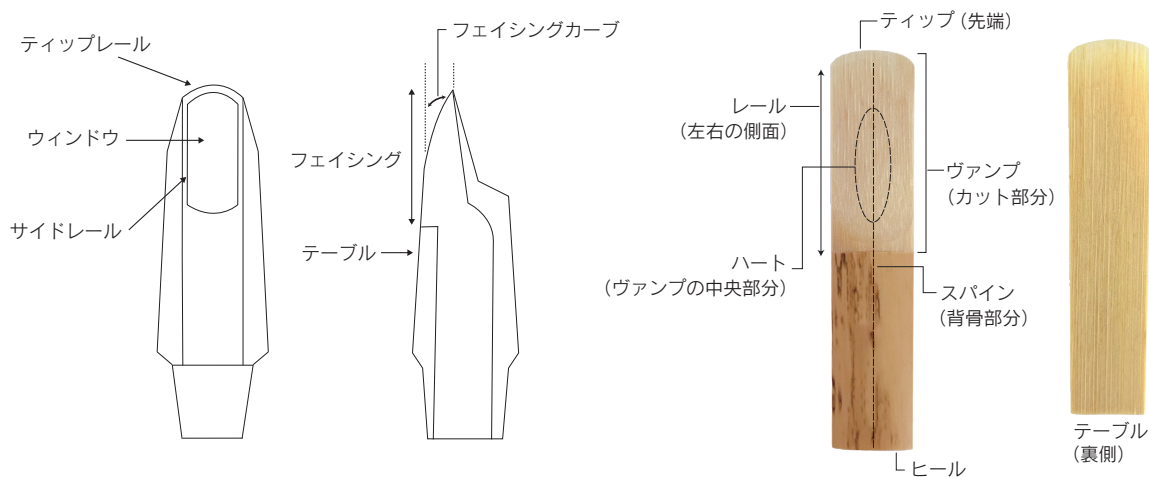


### はじめに

本製品は、木管楽器用マウスピースのフェイスングカーブを測定するためのツールです。また、その測定値をリードに正確に反映する際にも活用できます。



### フェイスングカーブの測定

プラークをマウスピースのテーブルにまっすぐ置き、プラークの上端がマウスピースの先端と平行になるように合わせます。

安定した状態で正確に測定するため、利き手の親指をテーブルとウィンドウの境目付近に当て、プラークが動かないようしっかりと押さえます。



ゲージをマウスピース先端側から、プラークとマウスピースの間へ差し込みます。

ゲージが軽く止まる位置が、マウスピースのフェイスングカーブの開始位置です。

プラークの目盛りは1mm単位です。測定値を記録するか、必要に応じてマウスピースの側面に鉛筆またはマーカーで軽く印を付けてください。



## リードの密着状態を確認する

ゲージをリードとマウスピースの間に差し込み、リードが均一に密着しているか確認します。

正常な状態では、ゲージはマウスピースのフェイス面に対して垂直な位置で止まります。

最適状態では、ゲージはフェイスカーブと同じ位置で止まります。



### ゲージが斜めになる場合

ゲージが斜めになる場合は、リードがマウスピースのテーブル面に正しく密着しておらず、反りが生じている可能性があります。（右の写真では左側が深く、右側が浅くなっています。）

この状態では、フェイスカーブの開始部分から空気が漏れ、リードの振動効率や演奏性能が低下します。



## リードの調整

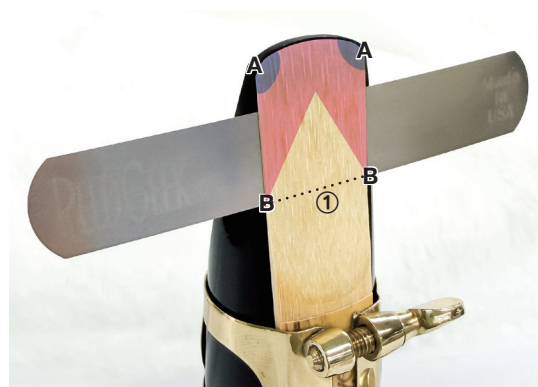
必要に応じてReed Geekツールを使用し、リード裏面が平らになり、マウスピースのテーブル面にしっかり密着するよう調整してください。

図は、マウスピースに正しく密着しているリードを示しています。

点線①は、フェイスカーブの開始位置です。この位置では、リードがマウスピースのテーブル面および左右のサイドレールに、すき間なく密着する必要があります。

調整は、まずスパイン（リードの背骨部分）の左右にあるAからB（フェイスライン）までの範囲で行います。図では、この範囲を赤い網掛けで示しています。

Aの部分は、安定した空気の流れを得るために、左右が同じ形状・同じバランスになるように整えることが重要です。リードとマウスピースのフェイスカーブのバランスが適切に整うと、音の響きが向上し、自然で安定した吹奏感が得られます。



## ブランクの使用方法

ブランクは、リード調整用のリードプレートとしても使用できます。

リードを調整する際は、「TIP WORK」と刻印された先端側の曲面を上にして使用してください。

フェイスング測定時にマウスピースのテーブルへ接するブランクの面に傷がつかないように、リードを削ったり、傷を付けたりしないでください。

テーブル面へ接する面を常に平滑な状態に保つことで、ゲージによるフェイスング測定の精度を維持できます。



## お手入れ・メンテナンス

石けんと水、またはアルコールを含まないクリーナーを使用して清掃してください。  
アルコールは使用しないでください。

詳しい使用方法やデモンストレーションについては、以下をご覧ください。

[www.reedgeek.com](http://www.reedgeek.com)

[www.youtube.com/reedgeektool](http://www.youtube.com/reedgeektool)

---

**株式会社 サウンドハウス**

〒286-0825千葉県成田市新泉14-3 TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222  
[www.soundhouse.co.jp](http://www.soundhouse.co.jp) E-mail: [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)